

プロの技術で 心の華やぎを

「超高齢化社会」と言われる中、外出が難しい高齢者や病气などの理由で店舗へ行くことができない方を対象に、理容師や美容師が自宅や施設に赴いてヘアカットなどを行う「訪問理美容サービス」の利用が広がりをみせています。

岐阜市加納にある理容室「BARBER NAKAJIMA」のオーナーの中嶋 保仁さんは、訪問理美容サービス「スマイルファクトリー」を並行して営み、双方に全力を注ぎます。

今、中嶋さんが考え、想うのは、さまざまな立場の方々が生き甲斐を感じられる「環境づくり」です。



スマイルファクトリー
なかしま 中嶋 保仁さん

訪問理美容に 込めた想い

「もともとの理容室は父が営んでいました。その頃は従業員が何人もいて、とても活気にあふれていました。お客さんに慕われていた姿がとても誇らしく、自分も大きくなったらこのようになりたいと、幼心に強く刻まれていきました。

た。少しでも一緒にいたい、タオルを洗ったり、掃除をしたりと、店の手伝いにも積極的になり、いつしか夢は理容師になること、思い描いていきました」

高校卒業後は、市内の理容室で働きながら通信課程で理容師の国家資格を取得しました。順調に修行を重ねてきた中嶋さんでしたが、三、四年が過ぎたころ、日を追ってひどくなる手荒れに悩み始めま

した。「爪もはがれるほどでした。何をしてもよくならず、悪化が進むたびに理容師の仕事が離れざるを得なくなり辛い思いでいました」

しかし、ずっと憧れていた理容師の仕事。嫌になったことは一度もなく、戻ってもひどくなるとまた離れ、その繰り返しに悩む日々でした。そのジレンマに、全く違う業種の仕事をしていった時期もあつ

あったこと、それは若い時分に介護施設へ訪問しボランティアで、カット提供していたことを呼び起こしました。

「皆さん喜んでくれましたし、有意義な時間でしたが、休暇を利用して出向くので定期的な訪問は難しく、ビジネスとして確立できないと保持していくことは簡単ではないと感じていました。しかし無くしてはいけないことだとも思っていました」

施設に訪れるたび、この仕事の大切さを痛感したと振り返ります。そしてまた、何度となく思い出される風景の一つに祖母がいました。

「いつもおしゃれな人でした。ところが病気で入院すると、髪も伸び、白髪も染められない。自分の思うように身だしなみを整えられない悲しそうな表情に、何とかしてあげたいと思うばかりでした」

高齢化が進み介護施設や介護される人も増えていく今こそ、このサービスを提供できる環境を整えられないかと考え、辿り着いた答えは「スキルのある理美容師と理美容店に行くことができない人、両者を結びつける」ことでした。

「そんなことができれば、双方に笑顔が生まれるのではないかと思

いました」

平成二十六年、中嶋さんは父の店を承継。

「訪問理美容サービスをしながらでしたので、毎日とはいきませんでした。一年ほどの間、一緒に店に立つことが出来ました。とても貴重で、充実した時間でした」

そして、店の承継と同時進行にて訪問理美容サービス「スマイルファクトリー」が始まりました。

心満たされる時間を 共有したい

かつて、ボランティアとして経験があったとはいえ、要介護者への理美容サービスは簡単ではありませんでした。まず、椅子に座った状態で施術するスタイルを身に付けてきた理美容師にとって、寝たきりで椅子に座れない方、座れてもしつかりとは座れない方など、それは思った以上に大変なことでした。

「自分自身の体勢を屈んだり低くしたりと試行錯誤しながら始まりました。他の訪問理美容を展開しているお店で指導を受け、また身内や友人の協力を得ながら練習の回数を重ねるなど、手さぐりでスキルを高めていきました」



今では施設や、自宅などに訪問し、月に約百五十人を超える人たちに施術しています。

「施設ごとにそれぞれの希望日時や施術内容に基づき年間でスケジュールを立てています。介護施設では、スタッフの方々が、私たちが作業をしやすいように一緒にサポートしてくださるなど、皆でいい時間を作る環境もできるようなりました」

スマイルファクトリーでは、介護施設などへの訪問のほかに、自宅での要介護者、また介護をしている方や育児中の方など、簡単に外出できない方々の自宅でも施術しています。

「祖母の姿が心の片隅にあります。どのような状態でも、髪を整え身綺麗にしていきたいと思います。自宅でも介護している方も介護される方にも安心で心が満たされる時間になればと思っています」

たほでした。

その後徐々に回復の兆しが見え、スキルも重ねていくことができ、前向きな日々を過ごせるようになった、そのような頃でした。

「父の病気が発覚しました。その頃は、店を縮小して一人で営業していました。今回、病気が分かり、改めて『今こそ力になりたい、この店を残したい』と思いました」

時を同じくして、中嶋さんには形にしたい新しい事業がありました。それは「訪問理美容サービス」です。

「きっかけは、同業の友人たちとの会話でした。ちょうど子育て世代の女性が多かった時期でした。子育てにより一時的に離職し、復帰しても時間的に制約があるため思うように働くことが難しいようでした。短時間勤務になると、どうしても受け持つ仕事が増えたりがちで、ヘアカットなど培ってきたスキルを活かしきれないことが悩みだと話していました」

磨いてきたスキルは活かす場がないと維持も難しくなる、そんな不安やもどかしさと、フルタイムでは働けない現状。葛藤を抱えている姿をみて、何とか力になれるか、と思索しました。思いを巡らせるうちに、ずっと心の片隅に

自分たちを必要としてくれる方々の要望にできるだけ応えていきたいと考えています。

「現在、店頭には私が、訪問サービスには二名のスタッフが中心に対応しています。今後はスタッフを増やして子育て中のスタッフの急な休みなどにも対応しやすいよう、もっと環境を整えていきたいです。時間や日程などのやりくりには、大変だと感じることもありますが、皆が時間に制約があるなかでも心置きなくスキルを活かして働ける場をつくっていききたいのです」

父の姿に憧れ、祖母の姿を元気にしたくて、その術を探求し、中嶋さんは今に至ります。

これからも、どんな状況の中でも多くの方が「自分らしい姿」で心豊かな日々を過ごせるよう、髪を整え、そして仲間たちが「生き生き」働ける環境を描いていきます。



スマイルファクトリー

住所 岐阜市加納花ノ木町 67-1
TEL 058-216-0382
FAX 058-216-0383